



2020年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 アクシーズ

上場取引所 東

コード番号 1381 URL <http://www.axyz-grp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊地知 高正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 榊 茂

TEL 099-223-7385

定時株主総会開催予定日 2020年9月16日

配当支払開始予定日 2020年9月17日

有価証券報告書提出予定日 2020年9月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	19,770	0.9	2,736	12.5	2,826	10.4	1,973	9.2
2019年6月期	19,586	1.1	2,431	18.7	2,560	17.0	1,807	15.2

(注) 包括利益 2020年6月期 2,029百万円 (13.2%) 2019年6月期 1,791百万円 (15.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	351.50		13.5	16.4	13.8
2019年6月期	321.81		13.8	16.1	12.4

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 8百万円 2019年6月期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	17,956	15,394	85.7	2,741.31
2019年6月期	16,426	13,815	84.1	2,460.01

(参考) 自己資本 2020年6月期 15,394百万円 2019年6月期 13,815百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	2,757	1,065	448	7,776
2019年6月期	2,390	2,150	420	6,533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期		0.00		80.00	80.00	449	24.9	3.4
2020年6月期		0.00		85.00	85.00	477	24.2	3.3
2021年6月期(予想)		0.00		85.00	85.00			

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,800	0.1	2,750	0.5	2,850	0.8	1,990	0.8	354.35

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期	5,617,500 株	2019年6月期	5,617,500 株
期末自己株式数	2020年6月期	1,649 株	2019年6月期	1,649 株
期中平均株式数	2020年6月期	5,615,851 株	2019年6月期	5,615,864 株

(参考)個別業績の概要

2020年6月期の個別業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	17,201	0.2	2,166	9.0	2,460	7.2	1,805	6.2
2019年6月期	17,175	0.5	1,988	23.6	2,295	18.3	1,700	15.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	321.59	
2019年6月期	302.83	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	14,286	12,511	87.6	2,227.82
2019年6月期	13,092	11,137	85.1	1,983.20

(参考) 自己資本 2020年6月期 12,511百万円 2019年6月期 11,137百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復が見られたものの、米中貿易摩擦長期化の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、今後の経済情勢は深刻な影響が懸念されております。

鶏肉業界におきましては、消費者の内食需要の高まりや他畜種に対する価格優位性から、国内鶏肉相場は回復基調にあります。しかしながら、感染症対策やそれに伴う消費行動の変化、人件費等の製造コストの高騰が継続しており、今後も厳しい状況が続くものと思われまます。

このような経営環境のなか、当社グループは、わが国国民の食生活の根幹を担う企業としての社会的使命のもと、商品・サービスの安定的な供給に取り組むとともに、飼料製造段階から、飼育、鶏肉生産・加工までの全てをグループ内で行っていくことにより、様々なお客様のニーズに応えることを目指しております。

食品事業におきましては、下期において新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けました。

外出自粛要請や在宅勤務を背景に家庭内食及び食品のテイクアウトニーズが増加したことから、鶏肉需要が高まり、国内鶏肉相場が上昇いたしました。鶏肉需要の高まりに応じて、主要取引先向けの販売が堅調に推移いたしました。また、各市場価格の低下を起因とする原燃料コストが下落したことに加え、引き続き肥育効率及び製造歩留の改善に努めた結果、前期に比して収益性が改善いたしました。

外食事業におきましては、前期に比して増収増益となりました。

KFC店舗において、15店舗（前期3店舗）のリニューアルを行いました。その改装工事期間中及び緊急事態宣言中に休業を余儀なくされたことに加え、店舗内飲食スペースを削減したことにより、前年に比べ販売機会が減少いたしました。しかしながら、引き続きキャンペーンが好調であったこと、特にドライブスルーを利用したテイクアウト販売による売上が大幅に増加したことに加え、店舗リニューアルの効果も寄与したことにより売上・利益面ともに改善いたしました。

PH店舗においても巣ごもり需要を取り込み、収益性が大きく改善いたしました。

今後ともフランチャイズ店舗のクオリティや利便性の改善を図り顧客満足度の向上に努めてまいります。

以上の結果、当社グループの業績は、売上高197億70百万円(前期比0.9%増)となりました。利益面につきましては、営業利益27億36百万円(同12.5%増)、経常利益28億26百万円(同10.4%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は19億73百万円(同9.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品

売上高は165億43百万円(前期比0.3%減)、セグメント利益は21億70百万円(同10.8%増)となりました。

②外食

売上高は27億98百万円(同6.4%増)、セグメント利益は3億37百万円(同22.4%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ15億30百万円増加し、179億56百万円となりました。これは、主に現金及び預金が12億42百万円増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ49百万円減少し、25億61百万円となりました。これは、主に買掛金が86百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ15億79百万円増加し、153億94百万円となりました。これは、主に利益剰余金が利益計上により15億24百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は77億76百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億42百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、27億57百万円の資金増加(前期は23億90百万円の資金増加)となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が28億23百万円、減価償却費が7億95百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、10億65百万円の資金減少(前期は21億50百万円の資金減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が11億22百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、4億48百万円の資金減少(前期は4億20百万円の資金減少)となりました。これは、主に配当金の支払額が4億48百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率(%)	81.0	84.1	85.7
時価ベースの自己資本比率(%)	153.6	84.0	86.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	2,940.5	2,829.4	3,243.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにおきましては、わが国の経済は新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞や雇用・所得環境の悪化などにより、景気は大きく後退することが懸念されます。また、鶏肉業界におきましては、内食需要の高まりがある一方、国内の外出自粛や大規模イベントの中止等による外食需要の減退から、厳しい経営環境が続くことを予測しております。

こうした状況下におきまして、当社グループは販売活動の強化を図るとともに、食品事業及び外食事業において生産性の向上を目指してまいります。

また、消費者に対する安全・安心への信頼を保証すべく、更なる品質管理体制の発展に注力いたします。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高198億円、営業利益27億50百万円、経常利益28億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては19億90百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,543	7,786
受取手形及び売掛金	1,883	1,710
製品	290	290
仕掛品	230	344
原材料及び貯蔵品	654	613
その他	303	288
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,905	11,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672	671
機械装置及び運搬具(純額)	1,114	1,166
工具、器具及び備品(純額)	1,422	1,454
土地	2,343	2,456
建設仮勘定	21	220
有形固定資産合計	5,575	5,969
無形固定資産		
	8	6
投資その他の資産		
投資有価証券	336	448
長期貸付金	139	50
繰延税金資産	34	20
その他	426	427
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	936	947
固定資産合計	6,520	6,923
資産合計	16,426	17,956

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	424	338
1年内償還予定の社債	35	—
未払金	1,155	1,149
未払法人税等	363	498
その他	171	130
流動負債合計	2,150	2,117
固定負債		
社債	—	35
繰延税金負債	125	65
役員退職慰労引当金	115	122
退職給付に係る負債	173	173
その他	46	47
固定負債合計	461	443
負債合計	2,611	2,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	452	452
資本剰余金	428	428
利益剰余金	12,880	14,404
自己株式	△1	△1
株主資本合計	13,759	15,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	111
その他の包括利益累計額合計	55	111
純資産合計	13,815	15,394
負債純資産合計	16,426	17,956

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	19,586	19,770
売上原価	13,383	13,207
売上総利益	6,203	6,563
販売費及び一般管理費	3,771	3,826
営業利益	2,431	2,736
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	4	8
受取家賃	37	37
為替差益	5	13
補助金収入	4	19
その他	70	17
営業外収益合計	131	106
営業外費用		
支払利息	0	0
減損損失	1	13
その他	0	1
営業外費用合計	2	16
経常利益	2,560	2,826
特別利益		
補助金収入	—	28
受取保険金	28	—
特別利益合計	28	28
特別損失		
固定資産圧縮損	6	28
固定資産除却損	6	—
減損損失	0	—
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	12	32
税金等調整前当期純利益	2,576	2,823
法人税、住民税及び事業税	827	922
法人税等調整額	△57	△72
法人税等合計	769	849
当期純利益	1,807	1,973
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,807	1,973

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	1,807	1,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	55
その他の包括利益合計	△15	55
包括利益	1,791	2,029
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,791	2,029
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	11,493	△1	12,373
当期変動額					
剰余金の配当			△421		△421
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,807		1,807
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,386	△0	1,385
当期末残高	452	428	12,880	△1	13,759

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	71	71	12,444
当期変動額			
剰余金の配当			△421
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,807
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15	△15	△15
当期変動額合計	△15	△15	1,370
当期末残高	55	55	13,815

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452	428	12,880	△1	13,759
当期変動額					
剰余金の配当			△449		△449
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,973		1,973
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,524	—	1,524
当期末残高	452	428	14,404	△1	15,283

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	55	55	13,815
当期変動額			
剰余金の配当			△449
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,973
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	55	55	55
当期変動額合計	55	55	1,579
当期末残高	111	111	15,394

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,576	2,823
減価償却費	780	795
減損損失	1	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	△9	△11
その他の営業外損益(△は益)	△110	△71
支払利息	0	0
持分法による投資損益(△は益)	△4	△8
固定資産除売却損益(△は益)	6	0
固定資産圧縮損	6	28
その他の特別損益(△は益)	△28	△28
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3
売上債権の増減額(△は増加)	△123	172
たな卸資産の増減額(△は増加)	82	△72
仕入債務の増減額(△は減少)	59	△86
未払金の増減額(△は減少)	△101	△83
その他	12	△49
小計	3,147	3,433
利息及び配当金の受取額	9	11
利息の支払額	△0	△0
賃貸料の受取額	37	37
法人税等の支払額	△903	△788
その他	101	63
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,390	2,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有価証券の取得による支出	—	△4,000
有価証券の償還による収入	—	4,000
有形固定資産の取得による支出	△1,768	△1,122
投資有価証券の取得による支出	△17	△26
貸付けによる支出	△217	△84
貸付金の回収による収入	116	172
その他の支出	△280	△5
その他	17	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,150	△1,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	35
社債の償還による支出	—	△35
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△420	△448
財務活動によるキャッシュ・フロー	△420	△448
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181	1,242
現金及び現金同等物の期首残高	6,714	6,533
現金及び現金同等物の期末残高	6,533	7,776

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「食品」及び「外食」の2つを報告セグメントとしております。

「食品」は主に鶏肉(チルド及びフローズン)や鶏肉に加熱、味付け等を施した加工食品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン及びピザハット店舗のFC事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	食品	外食	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,590	2,629	19,220	366	19,586	—	19,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	16,590	2,629	19,220	366	19,586	△0	19,586
セグメント利益	1,959	275	2,235	193	2,428	3	2,431
セグメント資産	13,362	1,788	15,151	1,275	16,427	△1	16,426
その他の項目							
減価償却費	599	19	618	159	778	—	778
のれんの償却費	—	1	1	—	1	—	1
減損損失	1	0	1	—	1	—	1
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	468	51	519	1,148	1,668	—	1,668

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	食品	外食	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,543	2,798	19,341	429	19,770	—	19,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	16,543	2,798	19,342	429	19,771	△0	19,770
セグメント利益	2,170	337	2,508	225	2,733	3	2,736
セグメント資産	14,728	1,919	16,647	1,309	17,957	△1	17,956
その他の項目							
減価償却費	598	22	620	173	793	—	793
のれんの償却費	—	2	2	—	2	—	2
減損損失	13	—	13	—	13	—	13
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	922	69	992	225	1,217	—	1,217

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー事業を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	2,460円01銭	2,741円31銭
1株当たり当期純利益	321円81銭	351円50銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,807	1,973
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,807	1,973
期中平均株式数(株)	5,615,864	5,615,851

(重要な後発事象)

該当事項はありません。